



フェイスブックでは、さらに阿南市や地域の出来事をチェックできます!



コロナに負けない 希望の光の花咲く

成人式開催を応援する「光の花咲く成人式プロジェクト」が7月25日午後8時ごろ、津峯山付近で花火を打ち上げました。令和4年成人式が華々しく開催されること、2年連続で中止となった阿南の夏まつりが来年こそは開催されることを祈念して。夜空には、希望の思いを込めた光の花が咲きました。



支え合い 住民による送迎始まる

一部のご近所デイサービスで、参加する要支援認定者等のためにスタッフによる送迎サービスが開始されました。福井町では、「福井たけのこ」(参加者約20人、スタッフ15人)が活動。開催日に、スタッフは希望のあった参加者の自宅を訪問し、会場の福井町総合センターまで送迎しました。



eスポーツを体感

8月1日～31日、光のまちステーションプラザにて「夏休みeスポーツ体験会」が開催されました。eスポーツは、コンピューターを使った対戦型ゲームをスポーツ競技として捉える際の名称で、年齢や性別、身体的な差異、国境を越え、さまざまな人が参加できることが、大きな魅力です。



プラネタリウム投影機がリニューアル

7月、科学センターのプラネタリウム投影機のリニューアルを行いました。新しい機器で、天の川の無数のきらめき等の表現や演出が多彩になったほか、動画や360°画像も表示できるようになりました。今後、同センターで撮影した資料を活用し、投影プログラムを発展させていきます。



豊かな自然環境を学びの場に

今津小学校6年生が7月22日、地元の自然環境の中で学ぶ「自然教室」を、辰巳海岸で実施しました。児童は、阿南市サーフィン連盟のメンバーから指導を受けながら、サーフィンやボディボードに挑戦。波に悪戦苦闘しながらも、ボードに乗れるようになり、豊かな自然を満喫していました。



服活を通してエシカル消費を広めたい

7月15日～31日、那賀川図書館で那賀高校エシカルクラブが、不要となった衣服を活用する「服活」イベントを開催しました。回収した衣服を分別・展示し、必要とする人に無料で提供しました。今まで、4,600着の衣服を譲渡したほか、衣服を海外に送り、現地の雇用やワクチン購入に役立てています。

表紙説明

東京2020パラリンピックに向けて、県下15市町村で行われた採火式。阿南市では、障害者支援施設シーズで「みんなで作るアートの火」と題して実施。施設利用者が作ったアート作品に囲まれて、ランタンにLEDが灯りました。